



News Release

2023年8月3日

日本製鉄株式会社

三菱商事株式会社

ExxonMobil Asia Pacific Pte. Ltd.

JOGMEC 令和5年度「先進的 CCS 事業の実施に係る調査」の受託について ～海外 CCS バリューチェーン構築の実現可能性調査について採択が決定～

日本製鉄株式会社（社長：橋本英二、以下「日本製鉄」）と三菱商事株式会社（社長：中西勝也、以下「三菱商事」）と ExxonMobil Asia Pacific Pte. Ltd.（アジアパシフィック低炭素ソリューション事業 プレジデント：Irtiza Sayyed、以下「エクソンモービル」）の3社は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）の令和5年度「先進的 CCS 事業の実施に係る調査」に関する公募（以下「本公募」）において、伊勢湾/中部地域の複数産業から排出される CO₂ を対象とした海外 CCS バリューチェーン構築の実現可能性調査（以下「本調査」）を受託しました。

本公募は、日本政府が掲げた 2050 年までに温室効果ガスの排出をネットゼロにするカーボンニュートラル目標に基づき、経済産業省が取り纏めた CCS 長期ロードマップ検討会での 2030 年までの CCS 事業開始に向けた事業支援に基づき JOGMEC が実施したものです。審査の結果、本年6月に「先進的 CCS 事業」の候補として、本調査を含む7案件が選定され、この度、正式に受託に至ったものです。

本邦においては CO₂ 換算年間約 11 億トンの温室効果ガスが排出されており、2050 年のカーボンニュートラル社会の実現に向けては、再生可能エネルギーの導入等のエネルギーの低炭素化の取り組みのみならず、なお発生が想定される温室効果ガスに見合う炭素除去が必要になります。CCS は除去した CO₂ を長期間にわたって貯留する技術として昨今注目を集めています。

今後3社は Joint Study Agreement を締結の上で、具体的な CO₂ 分離・回収先、国内の CO₂ 貯留の補完としての海外貯留先及びその関連技術、事業化に必要なバリューチェーンの構築をそれぞれの専門性を活かして検討して参ります。

御参考：前回の関連リリース

[海外 CCS バリューチェーン構築に向けた検討に関する覚書締結について \(nipponsteel.com\)](https://nipponsteel.com)

本件に関するお問い合わせ先：

日本製鉄株式会社 総務部広報センター TEL：03-6867-2977

三菱商事株式会社 広報部 報道チーム TEL：03-3210-2171

ExxonMobil Asia Pacific Pte. Ltd. TEL：+65-6885-2389

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative